

寄贈図書リスト

- 「統 英語で科学を書こう」
井口道生著, B 6 判, 200 p, 1339 円, 丸善,
参考書
- 「低温・超伝導・高温超伝導」
長岡洋介著, B 6 判, 196 p, 1339 円, 丸善,
解説書

- 「星座 12 ヶ月」
富田弘一郎著, 新書判, 237 p, 720 円,
岩波ジュニア新書, よみもの
- 「Optical Astronomical Spectroscopy」
C.R. Kitchin 著, A 5 判変形, 272 p, IOP Publish-
ing Ltd., 教科書
- 「星座の文化史」
千葉県立郷土博物館 & 府中郷土の森博物館,
A 4 判, 72 p, 1310 円, 図録

月報だより

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

**京都大学大学院
理学研究科宇宙物理学教室教官**

1. 助手 1 名
2. 京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室
3. 天体物理学 (理論, 観測, 光学観測機器開発)
5. 決定後なるべく早い時期
7. 履歴書, 研究経歴および論文リスト, 主要論文別刷, 研究計画書
8. 平成 8 年 4 月 25 日 (木) 必着
9. 〒 601-01 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室
稲垣省五 Tel. 075(753)3892
10. 応募上の注意
平成 7 年 12 月 22 日 (金) メ切の公募で「助教授または助手」, または「助手」に応募した方は継続して助手に応募しているものとみなしますので, 再度応募する必要はありません。ただし, 応募取消の場合にはお知らせください。

国立天文台電波天文学研究系教員

1. 助手 1 名
2. (1) 国立天文台電波天文学研究系 (2) 東京都三鷹市大沢
3. 電波天文学 (宇宙電波)
4. 電波天文学研究系では 45 m 電波望遠鏡とミリ波干渉計の共同利用運用を進めるとともに, 衛星打ち上げが間近に迫ったスペース VLBI 計画 (VSOP) の諸活動を強化し, さらに将来にむけて大型ミリ波サブミリ波干渉計 (LMSA) 計画の実現を目指しています。このなかで, 今回の公募では, VSOP 計画の推進に貢献し, 活動銀河核やメーザ源の観測的研究に取り組む強い意欲をもった若い研究者を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期 (2) 任期はありません。
6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究論文リスト及び主要論文別刷り (共著の場合はその役割分担), (4) 自薦の場合は, 研究計画と, 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先, (5) 他薦の場合は, 研究計画もわかる内容の推薦書
8. 1996 年 5 月 24 日 (金) 必着
9. (1) 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2) 国立天文台電波天文学研究系・稲谷順司
TEL : 0267-98-4382 FAX : 0267-98-2884
10. 封筒に「電波天文学応募書類在中」と朱記し, 簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議員会において行います。

国立天文台教官

1. 助手 1 名
2. (1) 光学赤外線天文学研究系
(2) 当面, 東京都三鷹市 (近い将来ハワイ勤務もありうる)
3. 光学赤外線天文学及び関連分野
光学赤外線天文学研究系は大型光学赤外線望遠鏡計

画推進部、天文機器開発実験センターなどと共に、ハワイに設置する「すばる」望遠鏡の建設を推進しています。「すばる」望遠鏡計画の推進と観測的研究に強い意欲を持って、制御・解析ソフトの開発、観測装置の開発・製作、観測研究等の分野で、活躍していただける若手研究者を求めます。

5. (1) 平成8年7月1日以降のなるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の学力をもつ方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概略を含む), (3) 研究論文リスト, 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合には推薦書の他に、前記事項(1)~(5)の概要がわかる書類。
8. 締切: 1996年5月10日 必着。
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2) 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台大型光学赤外線望遠鏡計画推進部
家 正則 TEL: 0422-34-3703
10. 封筒の表に「光学赤外線天文学研究系助手人事応募書類在中」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議員会において行います。なお、外国籍の方の場合、法令に基づいて任期を定める場合があります。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果
3. 着任時期

国立天文台位置天文・天体力学研究系助教授

1. 1995年3月号
2. 千葉征司
3. 1996年2月1日

国立天文台電波天文学研究系助教授

1. 1995年3月号
2. 立松健一
3. 1995年12月1日

国立天文台教官公募

大型光学赤外線望遠鏡計画推進部助教授

1. 1995年6月号

2. 山下卓也
3. 1996年1月1日着任

大型光学赤外線望遠鏡計画推進部助手

1. 1995年6月号
2. 小杉城治
3. 1996年1月1日着任

国立天文台教官公募

天文機器開発実験センター助手

1. 1995年6月号
2. 宮崎 聡
3. 1996年3月1日着任予定

京都大学総合人間学部基礎科学科教官

1. 1995年7月号
2. 阪上雅昭
3. 1996年4月1日

国立天文台地球回転研究分野教員

水沢観測センター助手

1. 1995年8月号
2. 荒木博志
3. 1996年1月1日着任

国立天文台教官

大型光学赤外線望遠鏡計画推進部助手

1. 1995年8月号
2. 柏川伸成
3. 1996年1月1日着任

国立天文台太陽物理学研究系教官

太陽物理学研究系助教授

1. 1995年8月号
2. 一本 潔
3. 1996年1月1日着任

宇宙科学研究所教官

宇宙圏研究室銀河進化物理学部門教授

1. 1995年8月号
2. 松本敏雄

3. 1996年4月1日着任

名古屋大学大学院理学研究科
素粒子宇宙物理学専攻教官公募
宇宙構造論講座教授

1. 1995年9月号
2. 池内 了
3. 1996年4月1日着任 (併任一年間)

研究会・集会案内

第21回光学シンポジウムのご案内

名 称：第21回光学シンポジウム
 テーマ：「光学系および光学素子の設計，製作，評価を
 中心にして」
 主 催：応用物理学会分科会日本光学会
 協 賛：照明学会，精密工学会，テレビジョン学会，レ
 ーザー学会，電子情報通信学会，画像電子学会，日本
 眼光学学会，計測自動制御学会，日本分光学会，情報
 処理学会，電気学会，日本機械学会，日本色彩学会，
 日本写真学会，日本天文学会，日本物理学会，日本オ
 プトメカトロニクス協会，光産業技術振興協会
 日 時：1996年6月20日(木)，21日(金)
 9：30～17：00
 場 所：東京大学生産技術研究所 第一会議室 (予定)
 東京都港区六本木7-22-1
 参加費：一般 5000円
 協賛会員 4000円
 日本光学会員 3500円
 学生 1000円
 お問い合わせ：
 〒192 東京都八王子市久保山町2-3
 オリパス光学工業(株)光学技術部
 和田 順雄
 電 話：0426-91-7502 Fax:0426-91-7509
 E-mail：ywada@opt.olympus.co.jp

用公開望遠鏡の整備が進み，いよいよ，一般向け天体観望を行える状況となりました。以下のように4月から，一般市民のための定例天体観望会の運用を開始します。

- (1) 頻度：月2回。第2金曜日と第4土曜日の夜に実施。
- (2) 対象：一般市民
- (3) 受付形態：自由参加，自由解散。
 団体は，申込制として，一般観望会以外の平日に対応します。
- (4) 受付開始および終了時刻：月，季節により次のように変更します。

| 月 | 開始時間 時：分 | 受付終了 時：分 |
|----|-------------|-------------|
| 4 | 19：00 | 20：00 |
| 5 | 19：30 | 20：00 |
| 6 | 20：00 | 20：00 |
| 7 | 20：00 | 20：00 |
| 8 | 19：30 | 20：00 |
| 9 | 18：30 | 20：00 |
| 10 | 18：00 | 19：00 |
| 11 | 17：30 | 19：00 |
| 12 | 17：30 | 19：00 |
| 1 | 17：30 | 19：00 |
| 2 | 18：00 | 19：00 |
| 3 | 18：30 | 19：00 |

- (5) 受付・案内：ロビーで受付，氏名，住所を記帳していただき，案内図，資料などを配布します。
 ・自動車での来台は，駐車場がないため，禁止します。
 ・雨天曇天(快晴以外)の場合は，中止。「観望会中止」の看板を正門に出します。開始時刻の3時間前に判断し決定します。
- (6) 観望対象：月，惑星。これらが見られない時には，星雲，星団，2重星など。
- (7) 問合せ：電話 0422-34-3688

国立天文台広報普及室

1996年度

公開天文台ネットワーク加入受付のお知らせ

国立天文台広報普及室 PAONET事務局

「公開天文台ネットワーク」(略称，PAONET)は，昨年11月から正式に稼働しており，現在約50の団体が加入されております。PAONETは国立天文台が広報普及活動の一環として，各地の公共天文台・プラネタリウム・科学館・教育センターなどに対し，電話回線を通じ

研究情報案内

社会教育用公開望遠鏡による定例天体観望会

国立天文台三鷹構内に設置された口径50cm社会教育

て天文の最新画像や情報などを提供するシステムです。

加入資格は：

- 天文の普及・教育を目的とした非営利団体
- 所属長の加入承認が必要
- 担当者がコンピュータの知識がある
- 担当者が電子メールアドレスを持っている
- Windows が動作するパソコン，電話回線，モデムがある

営利団体・個人の参加はできません。

加入団体の義務は：

- 運用規則を遵守する。
- 年度末に報告書を提出する
- 担当者はユーザーズミーティングに出席する。

今年度は，4月8日～5月10日の約1ヶ月間，加入申請を受け付けます。加入を承認した団体には，6月4日(火)・国立天文台（東京三鷹）にて行なわれる予定のPAONET ユーザーズミーティングを開催し，各種の説明と資料の配布を行います。

資料や参加申込書などの請求，質問は下記宛に郵便，Fax，電子メールにてお願いします。

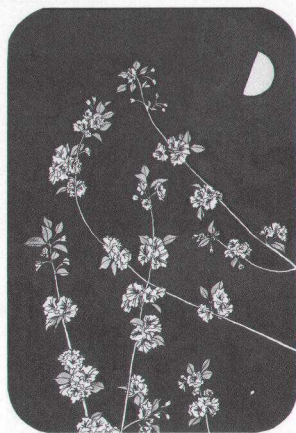
〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
 国立天文台 広報普及室 PAONET 事務局・
 TEL 0422-34-3644 Fax 0422-34-3810
 E-mail : paomgr@sl9.mtk.nao.ac.jp

共同利用・共同研究

平成8年後期（7～12月）国立天文台
岡山天体物理観測所の共同利用観測

以下のとおり公募いたします。詳細は，下記提出先または観測所へお問い合わせ下さい。

1. 共同利用機器：188 cm 望遠鏡，91 cm 望遠鏡
2. 利用期間：平成8年7月～12月
3. 申込資格：国・公・私立大学および国・公立研究所等の研究者，又はこれに準ずる者（大学院博士課程在学者を含む。）
4. 申込方法：規定の観測申込書により2部提出
5. 申込締切：平成8年4月15日(月)必着
6. 提出先：〒719-02 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄
岡山天体物理観測所共同利用係
7. 機器一般の問合せ先：
〒719-02 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄
国立天文台岡山天体物理観測所 前原英夫
電話 08654-4-2155



桜咲く星
小北純子（和歌山県）

| | |
|----------------|---|
| 編集委員 | 関口和寛（編集長），末松芳法，田代 信，辻本拓司，中川貴雄，林 左絵子，平野尚美，宮坂正大 |
| 平成8年3月20日 | 発行人 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 |
| 印刷発行 | 印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 |
| 定価700円（本体680円） | 発行所 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 |
| | 電話（0422）31-1359（事務室・月報） |
| | 5488（欧文編集） |
| | 5487（FAX専用） |
| | 社団法人 日本天文学会 |
| | 松本印刷 |
| | 社団法人 日本天文学会 |
| | 振替口座 00160-1-13595 |